



二葉幼稚園

2021年
園のたより



7月の聖句

ゆうきをだしなさい

ヨハネ16:33

7月のさんびか

うみでおよく

幼児さんびか 23

心ゆくまで

厳しい暑さの中、一緒に送り迎えをしている小さなご兄弟も毎日出会う人達がわかってきて、門で目が合うと笑顔になったり、在園児と一緒に検温したり、「おはよ」と膝を曲げてお辞儀をしたり、うさぎのゆきくんに会いに来たり、各々に愛らしい姿が見られます。

先日、あるお母さんから「あ～ほんまに、もう1回二葉幼稚園に通いたいわ～」という下校中の小学生の会話を偶然耳にしました、と嬉しい報告がありました。先月は何年かぶりに遊びに来た卒園児達から「ハイ！」沢山の折り紙のプレゼントが。その一つに「二葉幼稚園のいいところ」が7つ書かれていました。その中に「③たすけあえる」という言葉がありました。

今年度は園に色々な方々（音楽リズム、運動遊び、造形に携わる各講師等）を招き、子ども達と一緒に私達自身も新しい経験をして、面白さ、ワクワク感、なるほど！など心ときめく時間を共有できれば、と考えました。6月末には安田式の鉄棒 マット 平均台の試用も兼ねた運動遊びを経験しました。その時の様子を少しご紹介します。

年少では、低反発の大きなマットを用いてトンネル遊び等に取り組みました。ことり組では、くまさん歩き（高這い）で前進や後進。「こんなことできる？」の掛け声に「あ！これ赤ちゃんの時やったことあるは！」と。歓声と共に保育室狭しと一方方向にぐるぐるぐるぐる。楽しくなって「あははは。面白いね！」自然と共感する言葉が出てきます。

つくし組でも「△くん進んで！」や「○くん、楽しいね！ねえ○くん楽しい？」等子ども同士で共感を求める姿が見られます。赤青黄緑のマットで遊びながら一人が「この色大好き」と言えば「僕緑が好き」と会話も自ずと弾むほど、関係性が芽生えてきました。

年中長では、4月から一人ずつ仲間が増え、今ではすっかり意気投合。年中すみれ組では、何台もの高低差のある平均台を用いて、腹ばいでくぐるワニさん、高這いくまさん、股関節をしっかりと開いてまたぐ、細い平均台の上に寝そべり、両腕の力で進む忍者など、様々な動きを楽しみました。講師の提示する動きに「うわあ、面白そう」とでも言いたげに目を大きく見開き、にやりと笑う表情も。「◇くん、まって～」と友達と一緒にするのが嬉しい様子。新しい動きに「お～いいねえ」「簡単簡単」「できるできる」とワイワイがやがや。動きは働き蟻のようにチョコマカ、ピョンピョンといい調子。高度な技には一斉に「え～！」と大合唱。反応を見ただけでも面白い表情豊かな子ども達です。

ひかり組では、高低差のある3台の横長鉄棒や平均台を用いて、逆上がりや側転の前段階の動きに挑戦しました。まず、じゃんけんをする相手を探し、勝てばGo！3台の鉄棒に順番にぶら下がり、両足をばたばた開脚閉脚足じゃんけんを繰り返す内に伸びていた腕が自然と懸垂に。ぎこちないワニさんもコツを掴み両手両足をバランスよく使いこなして前進が可能に。次々と高度になる動きに子ども達の表情も闘志がみなぎり、講師の言葉に真顔で聴き入り、逆上がりもあと一歩。体験体感体得！貴重な一時でした。

様々な経験とともに重ねながら、巣立った後もふと「もう1回通いたい」場所で、「助けあえる」場所でありたいと願います。皆が心ゆくまで遊び込める場所、喜怒哀楽の感情も安心して心ゆくまで味わえる場所になればと願います。毎日の素直なお祈りを通し、神さまを身近に感じながら、勇気を出して進む者でありたいですね。【園長】